

第2回名寄市部活動改革推進協議会議事概要

開催日時：令和7年11月20日（木）18：30～19：20

開催場所：名寄市民文化センター 大会議室

出席者：小笠原 志朗、清水 幸子、石本 義行、桑内 寿則、西岡 裕英、松浦 修司、
金澤 秀和、片井 省仁、堺 卓也、内田 明美、大沼 広明、菅 歩、高橋 裕美、
筒井 正敏、林 雅裕、松澤 大介、

1 開 会

2 会長挨拶 会長欠席のため、副会長挨拶

3 議 事

事務局：議事（1）「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン（案）について」の説明。

L委員：議事（2）「各部会の報告について」文化芸術部会報告の説明。これまで2回の部会を開催し、協議を行ってきた。文化芸術部活動の活動内容や他地域の事例を踏まえ、個人や集団としてレベルアップを目指す活動と文化芸術活動を楽しむ活動の二つの形態の活動機会を確保することを検討している。

K委員：議事（2）「各部会の報告について」運動部会報告の説明。運動部会では、令和8年度から開始する運動部活動の休日の地域展開に向けて、地域で活動する環境をどのように確保するか議論を重ねてきた。将来的に部活動が廃止されることを見据えて、競技団体が地域において中学生を含めたジュニア育成の持続可能な活動環境を構築することを基本方針とし、検討している。競技団体が主体となることで、学校の段階にとらわれず長期的で一貫した指導が行えること、指導者育成による継続的な指導者の確保が行えるなどのメリットが考えられる。また、競技団体が地域の子どもたちの活動機会の提供について議論や検討することで、競技人口の拡大や競技団体のガバナンス強化により、地域スポーツ文化の底上げにつながることを期待している。

E委員：令和8年度から運動部活動の休日の地域展開を行った際に、平日の部活動と休日で異なる活動を行うことは可能なのか。また、地域クラブの大会参加について、様々な生徒のニーズに応じるようお願いする必要があると考える。

事務局：休日の地域展開を行った際は、部活動と同じ競技や異なる競技を行うこと、休日に活動を行わないなどから、生徒が自由に選択することができる。また、地域クラブ活動については、部活動と同様の活動を行うものではなく、地域クラブが行える持続可能な活動をベースに検討いただいている。

事務局：議事（３）「今後のスケジュールについて」の説明。

D委員：４月上旬に予定されている地域クラブ活動案内の際に、クラブに入会するのであれば、その時点で各クラブの活動内容が確定されている必要があると考えるが、現時点で、部活動と地域クラブで大会参加の方法について整理されていないと感じている。２月に予定されている新入生説明会を考えると、慎重、かつ迅速に進めていかなければならない。また、新入生説明会において様々な質問が出ることが想定される。次回の協議会までに部会の開催が予定されているが、見通しをもって進める必要があると考える。

N委員：入会要項を確定させる時期を地域クラブに周知する必要があると考える。次年度の大会開催スケジュールは、おそらく３月頃に決定されるため、４月の加入案内を踏まえると、事前の準備期間が必要になる。

E委員：運動部活動の休日の地域展開した際に、教員が地域クラブで指導者報酬を受けることが想定されるが、文化部活動の顧問と差が生じるのではないか。

K委員：運営資金は、指導者報酬として支援するものではない。運営資金の使途は、地域クラブの意向により異なる。

E委員：地域展開が先行している地域では、指導者報酬を渡しており、指導者報酬があれば指導者のモチベーションにもつながると考える。今後も継続して協議をさせていただきたい。

H委員：本日の意見を踏まえ、部会で検討していただきたい。以上で、本日の部会を終了する。

４ その他

５ 閉 会